

授業科目名	人体構造学 (2300103)		
時間割名	人体構造学 (55203)		
時間割担当	高橋優三		
実施期	後期	単位数	1 必修
曜日・時限	金・5		

授業の目標・概要

人体の基本的構造を系統立てて学習する。それぞれの系統に属する器官の名称と形態、体内の存在位置や器官相互の関係を学ぶ。また、系統学各論（骨格系、筋系、循環器系、泌尿器系、内分泌系、神経系、感覚器系）について享受する。

学習の到達目標

看護を含めた医療に従事する者において、正常な人体の構造と機能に関する基礎知識の習得は、きわめて重要である。本講座はあらゆる生体学（生理学、病態生理学、病理学など）に密接に関連しているからである。よって、本講座の到達目標は、人体の基本的な構造と器官を理解し、生体学の基礎を身に付けることになる。

授業方法・形式

言語のみでの説明で人体構造を理解するのは極めて困難なため、写真やイラスト等を記載したパワーポイントと資料プリントを用い、講義内容を明確に説明する。また適宜に練習問題を配布して理解を深める。

授業計画

- 第1回 女性生殖器系（卵巣 卵管）
- 第2回 女性生殖器系（子宮 膣 外陰部）
- 第3回 骨格器系（骨の構造 関節）
- 第4回 骨格器系（頭部 体幹の骨）
- 第5回 骨格器系（四肢 骨盤の骨）
- 第6回 筋系 筋の構造
- 第7回 筋系（頭部 頸部 胸部 腹部の筋）
- 第8回 筋系（四肢 殿部の筋）
- 第9回 筋系（四肢の運動）
- 第10回 神経系 神経細胞 神経組織
- 第11回 神経系 中枢神経（脳 脊髄）
- 第12回 神経系 末梢神経（脳神経 脊髄神経）
- 第13回 感覚器系 皮膚
- 第14回 感覚器系 視覚
- 第15回 感覚器系 聴覚 脳

成績評価の基準

- ・期末筆記試験で90%評価
- ・小テストで10%評価

授業時間外の課題

本講義中でのレポート等の宿題は設定しない。よって受講者は、講義内容を十分に理解できるように、予習、復習を各自でしっかり行うこと。各講義の最後に次回講義内容の範囲を説明するので予習の手引きに、復習には配布した問題プリントを活用して欲しい。（本講義内容は独自の理解は習熟を要するので、講義後の復習が大事と思われる。）

メッセージ

前期の人体構造学Ⅰと同じく、人体構造学には難解な語彙や覚えることが多く、とっつきにくいと思いがちです。まずは自分の体がどのようになっているかに興味を持って、生体学の基礎知識を知る楽しさを味わってください。

教材・教科書

解剖生理学（医学書院）

参考書

- 体の地図帳；高橋長雄監修（講談社）
- 目でみるからだのメカニズム（医学書院）